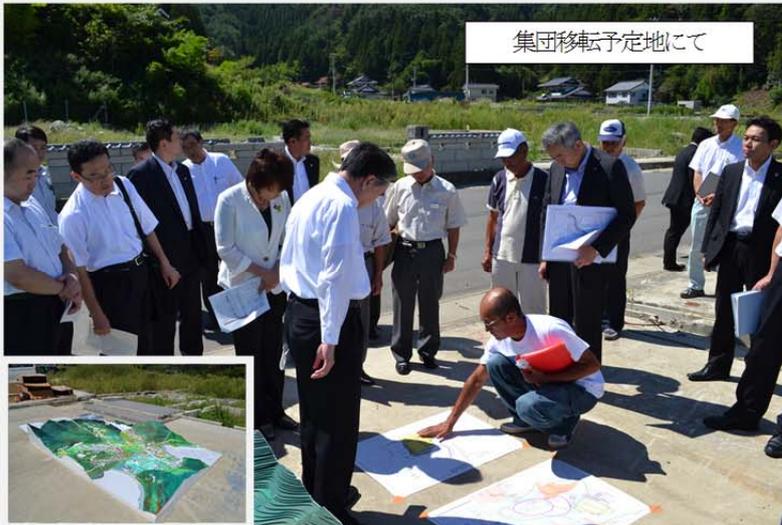


つちおと



集団移転予定地にて



BRT 試乗

伊里前商店街



南三陸町戸倉 がれき処理プラント

◆9月12日、平野復興大臣が現地視察と地元との意見交換のため気仙沼市、南三陸町に訪れました。◆気仙沼市大沢の集団移転予定地では、地区代表の方から熱心な説明を受けました。◆南三陸町伊里前の仮設商店街では、代表の方から新たなまちづくりに関するご提案がありました。◆震災がれき処理場では、事業主体である宮城県の担当者から説明を受けました。◆気仙沼市長、南三陸町長ともそれぞれ意見交換させていただきました。

◆九月中旬を過ぎても続いた厳しい残暑が、月末になっていきなり秋へと…。急激な変化のせい、体が追いつかず、体調を崩す原因にもなりかねません。応急措置として空調機器を使用するなど、体調管理にはくれぐれもお気を付けください。

◆気仙沼市役所ワン・テン庁舎2階で被災前の気仙沼市内各地の街並みを再現した模型が展示されていました。ご覧になった方もいらっしゃると思います。住民の声を聞きながら、白い模型にまちの色を再現したようです。被災前の「残すべきところ」「改善すべきところ」を形にすることで、新たなまちづくりの計画に活用できれば…。

◆南三陸町内で発生した震災がれきを処理するための処理場が戸倉地区に完成し、9月15日から焼却を開始しました。また、バイオマス発電施設も併設され、焼却熱の有効活用を図るようです。宮城県によると周辺環境への影響についても配慮されており、環境保全目標を満足できると予測、経過調査も実施されるようです。2年間で処理を完了する予定。

◆9月18日から東京都が採用した任期付き職員15名が気仙沼市に派遣されました。膨大な復興関連業務に追われている気仙沼市、即戦力が期待できる助っ人の登場で復興に弾みがつくことでしょう。気仙沼支所も気仙沼市と南三陸町に対して、精一杯の応援を続けます。

◆朝晩と日中の温度差が大きいと体調を崩しがち。くれぐれもご自愛ください。(山)



◆南三陸町産業振興課商工業観光振興係の宮川舞さんに聞く

今回は、南三陸町で復興に活躍されている南三陸町産業振興課商工業観光振興係主査の宮川舞さんへのインタビューです。

—いつごろから観光に関する仕事をなさっていますか？

以前から観光に関心があり、添乗員の資格取得のための勉強をしていたこともありましたが、仕事としては、仙台・宮城ディステーションキャンペーンに合わせて、観光部署を希望して異動した平成20年度からです。

—宮川さんから見た南三陸町の魅力を教えてください。

仙台・宮城ディステーションキャンペーンをきっかけに「観光まちづくり」に取り組み、もてなしの心を育みながら「地域力」を高めることに努めてきました。そして、南三陸町には、「結」の心が残っていると感じています。このため、人のあたたかさや浜の人の力強さなどの「人の力」が南三陸町のセールスポイント、魅力だと思います。また、この南三陸町の魅力は、震災後に色々なところで改めて感じたことでもあります。

—震災以降、宮川さんの仕事にどのような変化がありましたか？

震災前の仕事は、行政から働きかけるという側面を持ったものが多かったように思います。震災により、当面は観光の仕事はできないと思っていたものの、町はこれまで観光に関して培った様々なつながりを断ってはならないと考え、当時は自分1人だけになりましたが、町役場に観光部署が残りました。当初は、自分1人でどのようなことをすればよいかと戸惑っていましたが、これまで一緒に観光まちづくりに取り組んできた町の皆さんが引っ張ってくれました。震災から1年半過ぎた今でも町の皆さんに引っ張っていただいています。そして、このつながりは、震災前よりも強く、また、よりよいものになったと感じています。

—震災以降、様々な方から多くの支援をいただいているとお聞きしました。

震災前からお世話になっていた方々には、本当に親身になって心配していただき、物心両面で多大な支援をいただきました。この支援は今でも続いており、感謝の気持ちで一杯です。

—観光の第1線で仕事をなさっている宮川さんの抱負などを教えてください。

震災前から、教育旅行や体験旅行を企画し、多くの子供たちや学生に南三陸町に来ていただいています。これは観光地を訪問して買い物をするといったこれまでの観光のスタイルから、「心の交流」という新たな観光のスタイルとして定着したと思っています。そして、例えば海産物や農産物の収穫の際に皆さんがお持ちの技術や技能を発揮されることで、共に求められる取組が生きがいに繋がっていると思います。今こそ交流を通して私たち自身が地域の光を見つめ直すときなのかもしれません。今後も、町民みんなで迎え入れる観光により、さらに心の交流を活発にできたらと考えています。

—観光客にお越しいただくためのまちづくりとして、どのようなお考えをお持ちですか？

南三陸町では復興に関する計画が策定されています。この計画の主役は町民であり、町民の「顔」が見えるまちづくりに、自分も関わっていきたくと思っています。

今、「キリコ」が町のあちこちで見られます。これは、震災前に生まれた取組であり、地域の女性たちが主体となり、あちこちで取材をして、それをもとにキリコを作っています。キリコという、古くから伝わる文化で、町民が町の姿を記録に残す取組は、町の自慢と言えると思います。

このように町民が多く関わる取組をまちづくりに活かしていきたいと考えており、その結果として南三陸町ならではの、オンリーワンのまちが形づくられていけばいいと思っています。

—最後に、復興に期待することを教えてください。

町民と行政の間で情報がしっかりと共有されるよう、また、様々な取組が浸透するように町と協力して取り組んでいただけたらと思います。

宮川舞（みやかわまい）さん
昭和49年生まれ。南三陸町産業振興課
商工業観光振興係主査。南三陸町の観光
の現場で活躍中。
*写真は宮川さん（その後ろにキリコ）。



復興整備計画の御紹介

自治体の復興関連事業に必要な手続きのサポート。。。

東日本大震災復興特別区域法に基づき、復興整備事業（集団移転促進事業や土地区画整理事業等）の実施に必要な手続きについては、自治体が復興整備計画を作成し、関係者から構成される復興整備協議会での協議を経ることで許可等があったものとして取り扱われます。

今回は、気仙沼市と南三陸町が、それぞれ宮城県と共同で作成して公表している復興整備計画を御紹介します。

市町	事業名	公表日	地区名	規模等
気仙沼市	集団移転促進事業	平成24年5月25日	大沢地区	52 区画
			舞根2地区	31 区画
			階上長磯浜地区	78 区画
			登米沢地区	5 区画
			小泉町地区	95 区画
		平成24年7月9日	只越地区	17 区画
			小鯖地区	8 区画
			舞根1地区	22 区画
			楓ヶ浦地区	19 区画
			小々汐地区	14 区画
			大浦地区	40 区画
			浪板二区地区	25 区画
			波路上内田地区	6 区画
			波路上杉の下地区	5 区画
		平成24年9月18日	赤岩小田地区	5 区画
			赤岩石兜地区	8 区画
			松崎前浜地区	21 区画
			松崎浦田地区	35 区画
	最知川原地区		7 区画	
	大谷向山地区		11 区画	
本吉津谷地区	5 区画			
小泉東地区	11 区画			
小泉浜地区	6 区画			
土地区画整理事業	平成24年9月18日	鹿折地区	約41.8ha	
		南気仙沼地区	約32.5ha	
南三陸町	集団移転促進事業	平成24年7月9日	藤浜地区	10 区画
			寄木・藍の浜地区	47 区画
			馬場・中山地区	34 区画
		平成24年8月27日	港地区	17 区画
			田の浦地区	25 区画
			西田・細浦地区	20 区画
			荒砥地区	5 区画
			平磯地区	8 区画
			津の宮・滝浜地区	15 区画
	平成24年9月18日	清水地区	53 区画	
		志津川地区	482 区画	
		保呂毛・田尻畑地区	36 区画	
土地区画整理事業	平成24年9月18日	志津川地区	約60.2ha	
津波復興拠点整備事業	平成24年8月3日	志津川東地区	約24.4ha	
	平成24年9月18日	志津川中央地区	約17.4ha	

*気仙沼市と南三陸町で公表されている復興整備計画等から作成しました。

*公表日は、復興整備計画の公表日です。

*集団移転促進事業の区画数は、移転促進区域からの移転者に貸付又は分譲される住宅敷地の区画数です。

*復興整備計画では、この他に災害公営住宅や都市計画道路等に関する事業の記載があります。

復興関連事業の現場

復興関連事業の現場を
写真とともに御紹介します。

ここでは、住民の皆様をはじめ、市役所や町役場の皆様、事業に行う皆様の協力により進められている復興関連事業の現場を写真とともに御紹介します。

今回は、気仙沼市内で行われている防災集団移転促進事業の調査・測量の現場を御紹介します。

防災集団移転促進事業の造成工事等を行うための詳細な地形等を把握するため、厳しい残暑の中、長袖・長ズボンの作業着やヘルメットを着用し、大きな測量の機材を運び、車を降りてから数十分かかる山中で測量作業が行われていました。



クロスワードにチャレンジ!!!

答え
「東北全域を博覧会場に見立てた『東北①②③④博』の30番目のゾーンとして、気仙沼ゾーンがオープンしました。」

タテのヒント

- 1 あるものごとが好きな人の集まりです。例えば、「登山○○○○○い」、「テニス○○○○○い」など。
- 2 田や畑に立っています。
- 3 屋根板や外壁等に用いられる亜鉛鉄板です。
- 4 トム・ソーヤの○○○○、ピーターパンの○○○○。
- 7 ○○○無違反のために交通ルールを守りましょう。

ヨコのヒント

- 1 ♪夕焼け～小焼け～の○○○○○♪
- 5 海などに浮かべて利用します。○○○。
- 6 サッカーの澤選手に広告の協力いただいています。○○○○復興応援国債。
- 8 外国の人
- 9 オクトパス君は、志津川○○○をモチーフにしています。



【編集後記】

◆今回は、復興関連事業の現場の御紹介として、防災集団移転促進事業の調査・測量の現場にお邪魔させていただきました。一日も早い工事のために、きびきびと、時折汗を拭きながら作業される皆様の姿が印象的でした。



前回のクロスワードの回答

答え「陸前階上から『サイチ』までの2.1キロを専用道とするBRTが8月20日に出発しました。」

タテのヒント

- 1 南三陸町の復興まちづくりを多くの方にお知らせする南三陸町復興○○大使が誕生しました。
- 2 銀メダルは3位、銅メダルは2位、金メダルは○○○。
- 3 しりとりです。「あさ」→「さんかく○○」→「○○」→「ドリアン」
- 4 南三陸町の鳥。
- 5 風が近くに湧くことがあります。栗駒山など。

ヨコのヒント

- 1 家に居る独特の姿、他の人には真似できない独特の姿を○○○○。
- 5 はじかみ○○だ、はじかみ○○始ま
- 6 ワンワン、キャンキャン、バウバウ
- 7 私もできるよになりたいです。「Hello! How are you?」
- 9 秋の味覚、今年も水揚げが始まりました。



「つちおと」がホームページから御覧いただけるようになりました！

URLは、

<http://www.reconstruction.go.jp/topics/001177.html>

または、①復興庁ホームページ→②宮城復興局→③気仙沼支所だより「つちおと」にお進みください。



「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ

<http://www.reconstruction.go.jp/>